

令和4年度第2回木津川市介護保険事業計画等策定委員会

議事録

開催日時	令和4年10月24日（月） 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	木津川市役所5階 全員協議会室
出席者 (委員)	馬副会長、兎本副会長、岩本委員、小石委員、内藤委員、 谷口委員、久保委員、井上委員、行衛委員、村田委員 木下委員、大前委員、泉委員、島本委員、山川委員、新井委員、金沢委員
欠席者	安藤会長、光井委員、一庵委員、入江委員
事務局	大西健康福祉部長、前川健康福祉部次長兼高齢介護課長、山口主幹、 浅田課長補佐、林係長、木村係長、森川担当係長、岡田主任 サーベイリサーチセンター片山氏
議題	(1) 高齢者実態調査の実施について
資料	次第 資料 表題 資料1～資料6

議事の経過	
発言者	発言内容
事務局	<p>定刻になりましたので、只今から令和4年度第2回木津川市介護保険事業計画等策定委員会を開催します。私本日の司会を務めます、高齢介護課の森川です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>初めに資格審査ですが、本日の木津川市介護保険事業計画等策定委員会の開催については、策定委員会条例第6条第2項の規定に、「委員会は委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」となっております。本日、21名の委員のうち、現在17名の委員のご出席をいただいているので、会議が成立していますことをご報告します。</p>
事務局	次第に沿って進めさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願ひします。
事務局	<p>(委員の変更・紹介：涌出ぬくもりの里 泉委員)</p> <p>(次期計画策定業務及びアンケート調査委託業者紹介：株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所 片山氏)</p>
事務局	馬副会長からご挨拶をお受けしたいと思います。
副会長	<p>本日、本委員会会長の安藤先生がご用のため遅れて来られるということですので、私、副会長の馬が代理で進めさせていただきたいと思います。</p> <p>本日は、令和4年度第2回「木津川市介護保険事業計画等策定委員会」の開催をお願いしましたところ、委員各位におかれましては、大変お忙しいところご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、令和3年度から始まった第8期介護保険事業計画については1年半が経過し、次期計画の策定に向けて高齢者実態調査を実施する時期となりました。</p> <p>本日は、議題としまして「高齢者実態調査の実施について」を予定しておりますので、よろしく審議を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	続きまして議長の選出です。策定委員会条例第6条第1項の規定により、会長が議長となることと規定されています。また、条例第5条第3項に、副会長は会長の職務を代理することとされていますので、以下の議事進行については、馬副会長にお願いしたいと存じます。馬副会長、よろしくお願ひします。

	<p>副会長 早速ですが、議事に入ります。 「高齢者実態調査の実施について」事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>事務局 「高齢者実態調査の実施について」</p> <p>■資料 1 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」: 2,000 件予定</p> <p>■資料 2 「在宅介護実態調査」: 900 件予定</p> <p>国において、「実施いただきたい調査」として提示されており、本日審議いただく調査です。「国の必須項目」、「国のオプション項目」、「市の独自項目」で構成されており、国の提示する項目は変更ができないので、「市の独自項目」について意見をいただきたいと考えています。</p> <p>11 月に印刷・発送準備を行い、年内に発送・回収まで実施します。</p> <p>■資料 3 「介護人材実態調査」 ■資料 4 「居所変更調査」 ■資料 5 「在宅生活改善調査」</p> <p>国モデル調査票を資料として配布しています。</p> <p>前回調査時（3 年前）に実施していた市の独自調査「介護サービス事業所調査」、「介護支援専門員調査」（資料 6 「高齢者実態調査等報告書（令和 2 年 3 月抜粋）」参照）の質問項目を上記 3 調査に盛り込む形で再構築したいと考えており、年内に調査項目を決定、1 月上旬には報告事項として委員の皆様に提示し、1 月中旬に送付、2 月中旬までに回収というスケジュールで実施予定です。事業所に対する調査となるため、メールでの実施を含め検討します。</p>
	<p>副会長 ただいまの説明について、質問等はありますか。</p> <p>委員 資料 1 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」P. 15(12)において、コロナの影響を独自質問で追加されている。資料 2 「在宅介護実態調査」にもコロナの影響についての質問があつても良いのではないか。併せて、ニーズ調査同様、最後に自由記入欄を設けてはいかがか。3 年に 1 度、意見を伺う良い機会である。</p> <p>また、資料 6 において前回調査の回収率が示されているが、できるだけ多くの方から回答いただきたいが、回収率を上げる工夫等はあるのか。</p> <p>事務局 調査票が冊子状のもので、4 の倍数ページで印刷・製本することとなります。スペースの都合上、設問を追加するとページ数が増加し、回答者の負担も大きくなるため、難しい部分もありますが工夫して検討したいと思います。</p>

	回答率については、調査実施前に包括支援センターにも調査実施について事前連絡し、地域の方と関わる機会があれば、周知にご協力いただきたいと考えています。
委員	実態を確認する良い機会だと思うので、ページ構成が可能なら検討いただきたい。回収率については、QRコードを読み取るWEBアンケート実施の手法もある。スマートフォンの扱いに慣れている高齢者もいる。資金の問題もあると思うが回収率を上げる一手だと思うが、検討されたのか。実施は困難なのか。
事務局 (委託業者)	回収率の向上として、WEB併用調査にする方法もあります。高齢者や障がい者の方は、デジタルデバイス、スマートフォンを持たれていない方もまだ多くおられます。特に、前期高齢者はスマートフォンをお持ちの方が徐々に増えていますが、後期高齢者はまだ少ない状況です。WEB併用にすると、回答者が前期高齢者に偏る傾向があり、課題となっています。時代の変化に合わせて調査方法を工夫する必要がありますが、現時点では、それほど大きな回収率の向上につながっていませんので、次期以降の検討にさせていただきたいと考えています。
副会長	コロナで大変な状況の中で、4圏域の地域包括支援センターが独自でアンケート調査を実施しました。コロナ禍で皆さんのが困っておられること、とても大変だと思ったことがアンケート調査の結果として分かっているところもありますので、それを反映してもよいと思いました。また、内容についてもう少し詰めていただいてもよいかと感じました。
副会長	他にご意見、ご質問はございますか。
委員	独自項目について、経年変化を見るため大きな変更は難しいと思うが、こうしたほうがいいのではないかと思うことをお伝えさせていただく。
	資料1のP.5問5(1)-1「前の質問で参加していると答えた方について、そこではどのような活動をしていますか」の選択肢に「以前、参加していたが、コロナで参加していない」を追加してはいかがか。 P.8問8(3)「あなたにとって認知症予防の方法として、重要なものは次のうち、どれだと思いますか」に対し、選択肢「1. 家族・友人・隣人等と積極的にコミュニケーションをとる」は、「おしゃべりをする」という表現のほうがよいのではないか。また、選択肢「5. 運動を習慣化する」に「散歩など」といった文言を追加すると、私にもできると思われるのではないか。

P.8 問 8 (4) 「認知症の人への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか」の選択肢に「認知症の人が安心して受診できる医療機関」、「デイサービスやショートステイの介護職員の充実」を追加してはいかがか。

P.9 問 8(5)-1 認知症カフェについて、認知症カフェは当事者や家族の交流の場であるので、「1. 認知症の当事者同士の交流の場」に「家族」という文言を入れてはいかがか。

P.10 問 9(1)-3 「介護予防事業を利用するためには何だと思いますか」の選択肢に「送迎」や「いつでも参加できる」を追加してはいかがか。

P.15 問 9 (12) 「新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、あなたの日常生活はどのように変化しましたか」について、家族や孫が家に来なくなったり、面会やお見舞いもなくなったと聞くので「家族や親戚の来訪の回数」「面会やお見舞い」という選択肢を追加してはいかがか。

また、「家にいる時間が長くなった」という選択肢があってもよいと思う。

資料2 P.2 問 3-2 の施設入所について、施設入所を希望されない方の理由はお金がないからだという話を聞くので、「希望されないのはなぜか」といった質問を追加してはいかがか。

P.3 問 5-2 に「ショートステイ」、P.4 問 10 に「宿泊できるサービス」といった言葉が出てくる。どちらかに絞ったほうがいい。

P.4 問 10 [健康維持に関すること] で、「医療機関の充実」という選択肢を追加してはいかがか。

P.4 問 10 [介護サービスに関すること] で、「12. 在宅サービス」と「13. 通所サービス」とあるが、この設問の在宅サービスは訪問サービスだと思うので、分かりやすく注釈を付けてはいかがか。

また、「14. 施設サービス」が、宿泊できる施設のことなのか、施設入所サービスのことなのか分からぬ。

P.5 問 11 「認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために、どのようなことが大切だと思いますか」に対し「2. 老人クラブ、認知症カフェなどの居場所づくり」という選択肢があるが、「老人クラブ」より「サロン」のほうが居場所として親しみやすいのではないか。

P.6 問 4 「主な介護者の方の年齢」について、独自で「副介護者に 20 歳未満の方はおられますか」という選択肢を入れるとヤングケアラーについても調査ができるのではないか。

副会長	一つ一つ回答していくのか、本当に修正が必要なのか、ここで協議するのがいいのかというところもありますが、ただいまの意見に対して、どのような方向で対応するか事務局で検討されるかと思いますので、今は聞き及んでおくこととしてもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。
事務局	<p>国の必須設問は変更することはできませんが、独自設問の選択肢については、高齢者の方にもわかりやすい表現となるよう、表記を修正します。</p> <p>また、選択肢が多くなりすぎるとわかりにくくなる部分もありますので、集約できそうな選択肢についてはまとめつつ、新たに立てる必要がある選択肢については追加するなど、検討させていただきます。</p>
副会長	その他全体を通じて、質問等ありませんか。
事務局	改めて、本日いただいたご意見とその対応について、一覧表にまとめて後日報告させていただきます。
事務局	<p>多岐にわたり、ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>在宅介護実態調査についても、追加した方が良いと思われるものについては改めて検討し、ページ数の増加に関わらず、ご意見をできるだけ尊重した形で対応を検討したいと考えています。</p> <p>経年変化を比較する際に同じ表現とした方がよければ、そのまま踏襲する場合があるという点についてはご理解いただき、改めて対照表を作成し提示いたします。</p> <p>今回は、前回のスケジュールより調査時期を大幅に前倒して実施し、調査にしつかり取り組み、回答いただくことで、それを計画に反映する時間を十分に取りたいと考えています。今期の日程については、委員の皆様にも協力いただいていますが、そのあたりもご理解いただければと思います。</p>
副会長	<p>市民の皆さんがこのまちに住んでよかったですと思ってもらえるような良い計画にしていけたらと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>事務局から説明があったとおり、意見に対する対応については、後日報告を受けるということでおろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)

副会長	<p>これにて、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、議長を退任し、事務局と交代させていただきます。</p>
事務局	<p>議長におかれましては、議事進行ありがとうございました。また委員の皆様には、慎重なご審議を賜り、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第2回木津川市介護保険事業計画等策定委員会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しいところ長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>